

(仮称) 片瀬海岸3丁目9番先津波避難施設整備事業基本構想
の策定に向けた説明会議事概要 (8月31日・9月3日)

1 高さ・規模・構造等の質疑

①想定最大津波の高さが11.5mなのに、津波避難施設付近の基準水位が3.4mで大丈夫なのか、理解できるように説明して欲しい。国・県から示された数字だからと言って、責任転嫁するのか、藤沢市の考えが無い。また、津波の遡上で、川幅が狭くなると津波の高さが高くなるが、考慮されているのか。

→基準水位については、県が有識者を踏まえ、東日本大震災などのデータを基に基準を定めています。このことについては、昨年の7月に住民説明会を県の職員も同席し説明しておりますが、改めて県の方を呼び説明していただくことも考えています。

②有事の際、津波避難施設にどの程度の期間滞在することを想定しているのか説明して欲しい。

→津波の注意報や警報が解除されるまで、救助する側は、ハザードエリアに陸から近づくことはできないと思います。東日本大震災では2日目に警察や自衛隊と一緒に避難所へ移動できたということもありますので、そういった点を考慮していく必要はあろうかと思います。

③避難者1人当たり、0.6㎡とのことだが、車椅子での避難も想定される中、適正で十分な広さなのか説明して欲しい。階層を増やすことによって、1人当たりの面積に余裕が出るのではないか。中間部分に床を張り、水位が低くなったら屋上階から中間階に降り混合いを減らすなども検討して欲しい。

→一人当たり0.6㎡という考え方についてですが、そこに立った状態で、0.6㎡という考え方になります。ただ、これは、この避難施設に限らず、藤沢市のすべての津波避難施設での考え方になります。

④想定避難人員760人の根拠を示して欲しい。昼夜人口を考慮しているのか説明してほしい。

→資料3の案内図赤で囲われた範囲が津波避難施設に避難していただく方で、令和元年の調査で760人の方が住んでおられます。この赤枠より北西側にお住まいの方は高台へ、南東側は白百合学園等への避難になります。

⑤避難床への上り口を分散して欲しい。道路側に上り口を作って欲しい。

→入り口としてスロープと階段を設置させていただきまして、2方向から避難ができるように考えています。スロープ、階段に関しましては、道路から直接スロープ、階段に入ってしまうと760人が短時間に避難所に入り込むこととなりますので、どうしても階段下、スロープ下で人の渋滞が起きるような状況になってしまいます。その渋滞が道路上に出ないようしたいという考え

方から、現時点では、避難施設の敷地内に一度入っていただき、そこからスロープ、階段で上がっていただくような方法をとりたいと構想しています。

⑥地盤が悪いので、きちんと対応した工事をして欲しい。

→地元の方からも、ここは池等が昔からあるようなところだと伺っておりまして、昔の地図などでも、かなり水が発生（地下水）するようになっていきます。また、川と海に挟まれていることもあり、地盤が緩いようなところもございいます。そのあたりも含めまして、実際に杭を打つ場所の数か所にボーリング調査を行っており、その土地の砂地の状況を見て、どこまで杭を打てば建物が安全に保たれるか等を調査しております。

2 設備等

①十分な備蓄（3日分）が欲しい。

→最悪のことも考えながら3日程度の備蓄は必要なのかなというように考えていますが、他の避難施設の状況も考慮し検討していきます。

②風雨に晒されることの無いよう屋根及び部屋が欲しい。高知県の津波避難施設は冷暖房施設が完備している。他自治体の事例も参考にしたい。

→倉庫をトイレや備蓄以外に、少し体調の悪い方のための休憩場所として、スペースとしても利用いただき、また、保温シートなど備蓄し寒さをしのげるような検討をしております。

③景観に配慮し、木造風にして欲しい。

→意見とし、検討していきます。

④トイレは仮設ではなく本設にして欲しい。

→災害時は、下水施設等は故障していることも考えられますので、トイレ処理袋等による対応を考えております。ご意見としてうかがっておきます。

以下⑤⑥は説明会終了後の書面による意見

⑤屋根や発電設備があれば、避難者もやや快適性が増す。

⑥蓄電池もあれば、電気サービスが受けられる。

3 工程等

①震災はいつ起こるか分からないので、早急に津波避難施設を整備して欲しい。

→早急に津波避難施設を作ることを前提に取り組みを進めさせていただいています。

以下②③は説明会終了後の書面による意見

②令和7年度竣工では遅すぎる。

③今まで待ったのだから、完成が遅くなっても構わない。

4 避難所関係

①整備する施設は、一時的な緊急避難場所を想定しているとのことだが、指定避難所に位置付けられるのか説明して欲しい。

→今回の施設は「一時避難所」として使用させていただきまして、ここを長期滞在の避難所としては捉えておらず、まずは一時、退避していただき、そこからさらに避難所に向かうというようなことを想定しています。

以下②③は説明会終了後の書面による意見

②湘南白百合学園との総合的な避難対策を考えて欲しい。

③有事の際に、津波避難施設から避難所への移動方法などを説明して欲しい。

5 住民の利用等

①平時においても津波避難施設を住民に開放し、地域住民の利益になるようにして欲しい。

→集会所や公園・砂場を作ってほしいといったご意見もございます。ただ、その反面、そういったものを一切作ってほしくないというご意見もございます。地区の中でもまとまっていないような状況ではございますが、我々の意見としては、皆さんの安全を守るということを第一に考えさせていただき、津波避難施設を作るということ、その上で、どのように利用していくか等に関しましては、その時点で、皆様と担当の部署とで相談をしながら進めていただけたらと考えます。防災安全部としましては、まず、皆様の安全確保のために津波避難施設を作らせていただくことを最優先していきたいと考えております。

②住民の生活に寄り添ったものと考えて欲しい。

→5①と同じ

③完成後にコンテナやプレハブ等を設置し、町内で人が集まるところが欲しい。対応できるように作って欲しい。

→5①と同じ

④津波避難施設の整備目的のみの土地利用を目指してはいけない。土地利用に関しては住民の知恵に任せて欲しい。

→ 5 ①と同じ

6 その他

①津波のシミュレーションがあるのであれば、映像などで見せて欲しい。

→シミュレーションや情報、本日の説明会の資料等を9月1日掲載しましたので、是非ご参考にしていただければと思います。

②市議会でも丁寧にきちんと議論して欲しい。

→市議会にも随時報告しております。

③片瀬地区のまちづくりにも係わるので、事業担当課だけで回答して欲しくない。他部署との検討内容を開示して欲しい。

→今回も片瀬市民センターに同席していただき、皆様のご意見を聞いていただいております。

以下④⑤は説明会終了後の書面による意見

④本日の意見を重要視して欲しい。住民の協力が無い施策は死策だ。

⑤津波避難施設に行くまでの道路整備も併せて進めて欲しい。

以 上